

地理院地図で標本データの分布図を作成

S-Netから日本で採集された標本データをダウンロードし、国土地理院の地理院地図を使って分布図を作成します。以下では「タヌキ」標本の分布図を例に説明します。

1. 日本の緯度・経度が指定されている標本情報をダウンロード

① 検索条件を設定し、検索ボタンをクリックします。

② 検索結果の一覧が表示されます。上部の「ダウンロード」を選択します。

③ 「ファイル形式」に「CSV形式」を、[文字コード]には「S-JIS」を選択し、[項目名]は[全て]をオフにして緯度と経度（必須）と和名や機関名など**をチェックした後、[実行]してダウンロードされた.csvファイルを保存***します。

必須項目：緯度（十進数表記）、経度（十進数表記）、和名、機関名（日本語）、コレクションコード、カタログ番号

① [詳しく検索]を選択して、[和名]に「タヌキ」を「完全一致」で指定し、[緯度]と[経度]に日本の範囲*を指定して検索します。

*日本の緯度と経度の範囲はおおよそ北緯20～46度、東経123～154度です。

② 検索されたタヌキの標本の一覧が表示されます。上部の[ダウンロード]を選択します。

③ [ファイル形式]に「CSV形式」を、[文字コード]には「S-JIS」を選択し、[項目名]は[全て]をオフにして緯度と経度（必須）と和名や機関名など**をチェックした後、[実行]してダウンロードされた.csvファイルを保存***します。

**チェックした項目は地理院地図上で各ポイントの属性として表示して確認できます。

***ファイル名には和名を入れ「タヌキ_specimen_20191108031457.csv」とするとわかりやすくなります。

2. ダウンロードした標本情報を国土地理院の地理院地図に投入

【地理院地図】 <https://maps.gsi.go.jp/>

① 1.で保存した.csvファイルをドラッグします。

② [拡大率]から「0.5」を選択し、[読み込み]を行います。

③ 地図上にタヌキの採集地点が●で表示されます。

④ [設定]の[中心十字線]をOFFにします。

3. 画像を保存して標本の分布図が完成

① [共有]の[画像として保存]を選びます。

② [範囲を固定]を選択し、●が見える範囲を赤い枠で囲って囲み「OK」とします。

③ 画像が生成されたら、[画像を保存]*します。

*ファイル名には和名を入れておくとわかりやすくなります。

④ 保存した.pngファイルを「ペイント」ツールなどで開いて確認し、タイトルを追加して完成です。

※ [印刷]を選んで直接印刷したり、pdfファイルに保存したりすることもできます。

※ 分布図を白地図上に表したい場合には左上の[地図]から「白地図」を選択します。また、「English」を選択すると英語の分布図も作成できます。

.pngファイルの画像は「ワード」や「パワーポイント」に挿入してご利用いただけます。

■ 自館の標本情報だけの分布図を作成したい場合

前ページの1. - ①で[全ての機関]のリストボックスからご自分の機関名を選択して検索を行うか、1. - ②で左の[機関名（日本語）]からご自分の機関名を選択して検索結果を絞り込みます。1. - ③以降は同じ手順です。



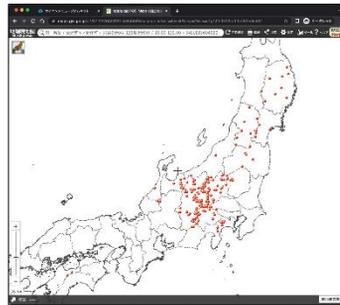
例：川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）のタヌキ標本の分布図
地理院地図では左上の[地図]から「淡色地図」を選択。

■ 複数の種の分布図を作成したい場合

前ページの1. の手順で表示したい種それぞれをダウンロードを行い、2. の手順でcsvファイルを一つずつ地理院地図に投入し、種ごとにアイコンの色を変えます。



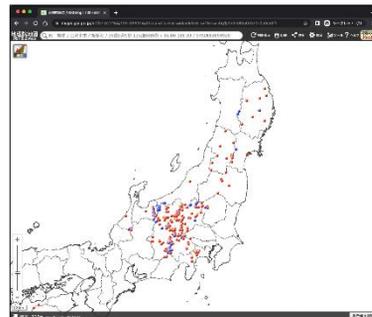
① 1つ目の種の.csvファイルをドラッグし、[拡大率]から「0.5」を選択して、[読み込み]を行います。



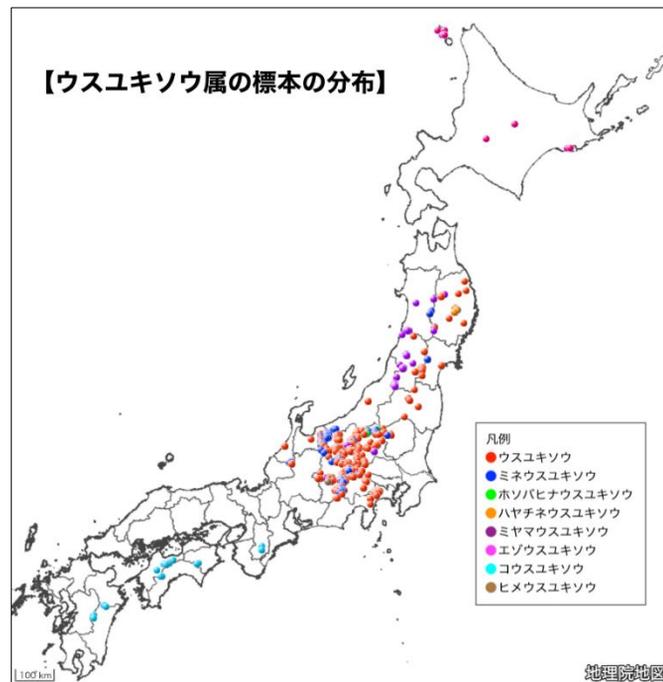
② 1つ目の種の採集地点が●で表示されます。



③ 2つ目の種の.csvファイルをドラッグし、[アイコン]の●を●に変え、[読み込み]します。



④ 1つ目の種の●の上に2つ目の種の採集地点が●で表示されます。



例：複数種のウスユキソウ標本の分布図
地理院地図では左上の[地図]から「白地図」を選択。

⑤ 3つ目の種以降も同様に色を変えて行います。